

富士市CNFプラットフォーム設立5周年記念シンポジウム

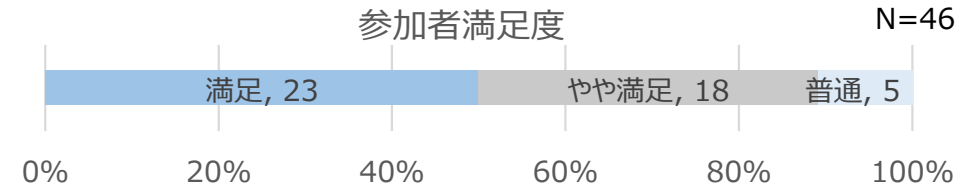
- 例年の全体セミナーの研究開発及び実用化等の動向、プラットフォーム活動の報告等の講演に加え、有識者による本市CNFの将来展望に係るパネルディスカッションや会員等の交流の機会など周年記念事業として開催
- ナノセルロースジャパンとの連携・協力企画として実施し、ネットワーキングランチ等を通して、参加者同士の交流を促進（前日の7/2(火)、昨年度に引き続きナノセルロースジャパン第5回総会を富士市で開催）

開催日時 2024年7月3日（水）10:30～16:30

会場 富士市文化会館ロゼシアター小ホール

※基調講演・CNFの社会実装事例講演のみライブ配信

参加者 プラットフォーム会員等 304名（交流会参加122名）



- 「満足」(50%)「やや満足」(39.1%)で約9割となり、満足度は高い傾向
- 会場参加者に限定すると、「満足」(57.9%)、「やや満足」(21.1%)と満足度が更に高い傾向



「基調講演」京都大学 矢野先生



ネットワーキングランチ



パネルディスカッション

富士市 C N F 関連産業推進構想【2019年3月策定】

- CNF関連産業の創出・集積に向けた取組を飛躍させ、より効果的な地域産業振興と地域への波及効果を高める
- 「将来像」及び将来像実現のための「5つの方針」を設定し、方針に基づく施策を展開

富士市が
目指すべき将来像

C N F でつながり ひろがる ものづくりのまち ふじ
～ 持続可能な社会を創るまちへ ～

方針 1

CNFの理解促進 ～CNFを 知る～

CNFの最新動向の把握、取組ステージに応じたCNF専門知識の普及啓発、様々な媒体を通じた情報発信の強化

方針 2

CNFの活用促進 ～CNFに 触れる・作る～

CNFデータの活用・共有、大学・研究機関への紹介・斡旋、活用を後押しする補助制度の創設・運用・紹介

方針 3

CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成 ～CNFで つながる～

人材育成と研究機能の強化に向けた拠点整備、企業等のマッチング機会の創出、全国の地域CNF推進組織等との連携強化

方針 4

CNFの事業化推進 ～CNFで 儲ける～

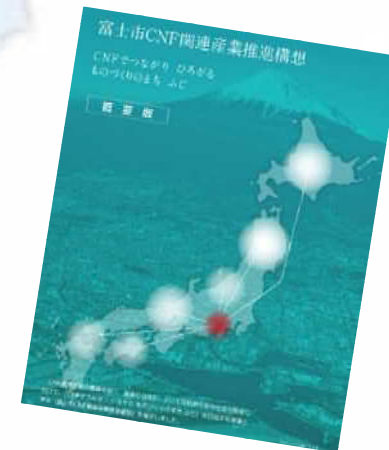
産学官による連携活動の促進、ビジネスモデルの構築

方針 5

CNFのまちブランド育成 ～CNFのまちを プロモーション～

CNFのまちシティプロモーションの強化、ふじに集まる仕組みづくり

アクションプラン（1期：3年間）による取組展開



第1期アクションプランと富士市CNFプラットフォームの設立

- 推進構想は、2030年までの長期構想
喫緊に対応すべき取組を短期的な**アクションプラン**（2019～2021年度：第1期）として定める

第1期アクション

アクション1 積極的な広報・PRによる情報発信・普及啓発

CNF普及啓発パンフレット・冊子の作成と配布、普及啓発講座の実施、専門ウェブサイトの開設 等

アクション2 用途開発を後押しするマッチング機会の創出

分野・技術等に応じた研究会・セミナーの開催シーズ・ニーズの効果的なマッチング機会の創出 等

アクション3 「アクション1」「アクション2」等 取組を展開する場、推進組織の設立

（仮称）「富士市CNFプラットフォーム」の設立・運用

➔ 2019年11月1日 富士市CNFプラットフォーム設立



第2期アクションプラン

- 第1期アクションプランを踏まえ、第2期アクションプラン（2022～2024年度）の取組を明確化し、施策の更なる展開を図る

目標

CNFの裾野の拡大とオープンイノベーションによる用途開発の加速化

第2期アクション

アクション1 CNFに関する情報の共有と活用

- CNF情報に関する報告書等の紹介・周知
- CNFの先進的な取組や活用等に関する具体的な事例の紹介
- 富士市CNFプラットフォーム活動、会員や地元企業の取組の紹介・発信
- 市民や消費者向けのCNF普及啓発活動

CNFへの取組の
動機付け・エンカレッジ

アクション2 用途開発を加速するマッチングの機会の創出と強化

- 応用分野別や個別の素材シーズに関する勉強会の開催
- 様々な手法と広域的な企業・関係者とのマッチングの開催
- 大学シーズとのマッチング
- CNFを含めたバイオマスマテリアルへの着目

マッチングの強化による
CNFの用途開発の加速

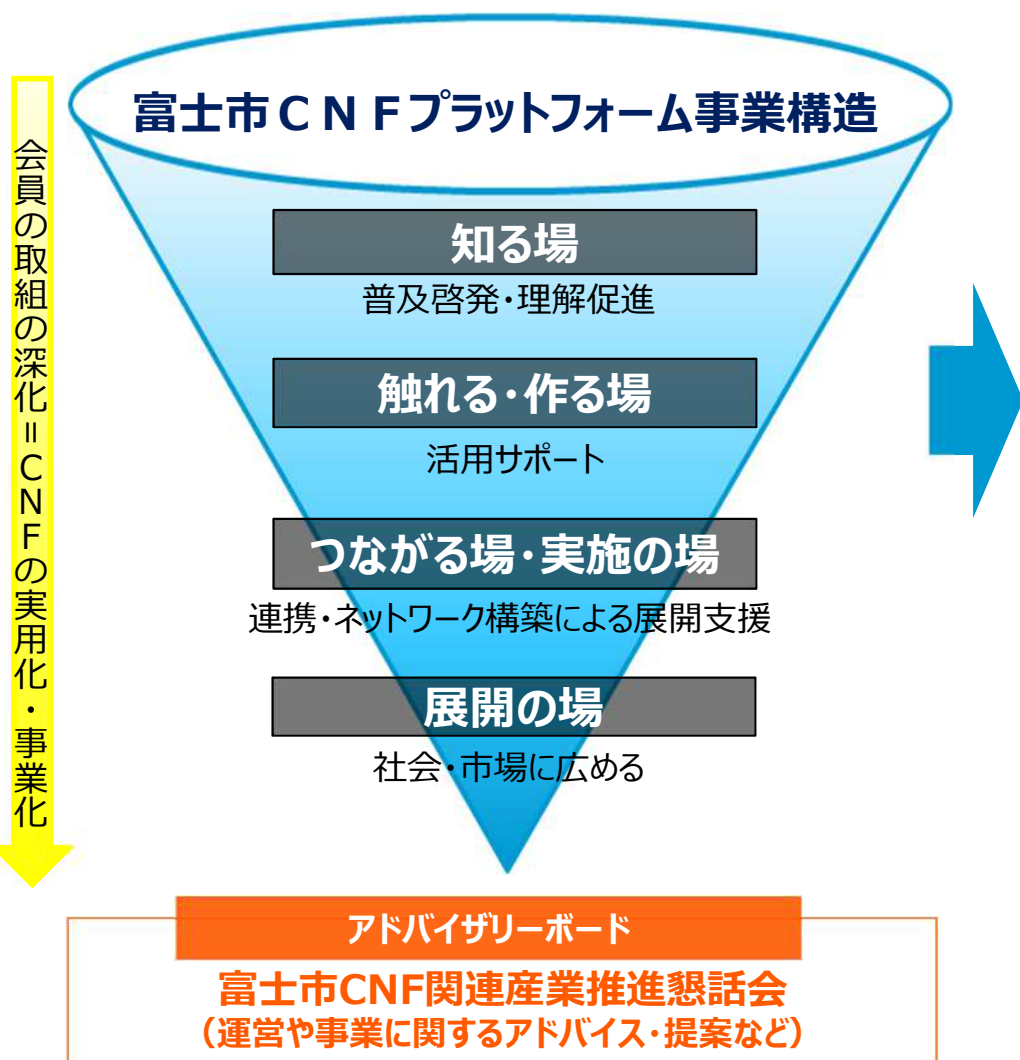
アクション3 「オープンイノベーション」の場の創出と支援

- オープン・クローズ戦略とオープンイノベーションの認知
- オープンイノベーション活動の創出
- ものづくり（価値づくり）に向けたテーマアップ・チームづくり

オープンイノベーション
スタイルによるものづくりの展開

富士市CNFプラットフォームの概要

- 「CNFでつながる」場・体制の構築：富士市CNF-PFの設立(2019年11月)
CNFの用途開発を加速し、CNF関連産業の創出を図るための連携・ネットワーク構築
- 国内の事業者、大学等の教育機関、産業支援機関、行政機関等を会員対象
※国内の大学、研究機関等に保続する研究者は、個人入会可



取組ステージ	2024年（令和6年）度 事業計画
知る場	・富士市CNF-PF設立5周年記念シンポジウム ・CNF普及推進チーム活動 ・ウェブサイトの運用、会報紙制作・発行
触れる場・作る場	・実践セミナー(NCJとの連携・CNF連携拠点活用事業) ・補助金の運用(産学連携CNFチャレンジ補助金) ・静岡大学、富土工技や県CNF-CD等への橋渡し
つながる場・実施の場	・富士市CNF連携拠点活用事業 研究開発と人材育成に資する事業 「磯貝 明 特別教授ラボ」の活動 ・ふじのくにセルロース循環経済国際展示会 (ビジネスマッチング会、静岡県との連携事業) ・「F CNFブランド」活用等勉強会 ・デジタルツールを活用したCNF-OI促進事業
展開の場	・PF活動プロモーション推進事業 ・富士市CNFブランド「F CNFブランド」認定事業 ・CNF関連イベント等におけるデジタル技術活用事業

その他、入門セミナー、PF会員等意向調査、CNF関連産業推進懇話会の開催、NCJや他地域推進組織等との連携強化・事業などを進める

富士市CNFプラットフォーム活動の歩み

会員数 209【企業・団体等184、個人等25】（2024年8月末現在）

富士市CNFプラットフォーム会員数の推移



推進構想に基づく成果指標に対する進捗状況

- 推進構想では、「5つの方針」に基づき実施する施策の成果指標を設定
- 第2期アクションプラン終了時が、推進構想の中間年度となることから、達成している成果指標については、CNFに関する動向等を踏まえ、第3期アクションプランの策定にあわせ、設定指標や目標値の見直し等を行う。

＜推進構想の各方針に基づく指標の進捗状況＞

方針		指標	基準値	現状値 2023年度末	中間値 2024年	目標値 2030年
1	CNFの理解促進	市が主催するセミナーや研修事業への参加延べ人数	70人 (2017年度)	1,298人	600人	1,200人
2	CNFの活用促進	CNF関連補助金の活用件数	0件 (2017年度)	5件	5件	10件
3	CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成	プラットフォームへの参加団体数	—	202団体	40団体	80団体
4	CNFの事業化推進	CNFを活用し、製品化した市内事業所数	1社 (2017年度)	15社	10社	20社
5	CNFのまちブランド育成	活気がある工業都市だと思う市民の割合	35.0% (2013年度)	—	50.0%	65.0%